

こっこめ通信 01 2018

「順調に増えてます」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

あけましておめでとうございます。2018 年も八丈島で楽しんでいただけるよう職員一同頑張ります。

昨年 12 月にはビジターセンター内に、島のジャージー牛で作ったジェラートを販売する「Gelateria365 (ジェラテリアサンロクゴ)」もオープンしました。とても美味しいので来館の際には是非！カフェついでに来館也大歓迎です！

さて、今回は「特別保護区になった八丈小島」「戻ってきてくれてありがとう」のお話です。

鳥獣保護区になった八丈小島

東京都は平成 29 年 11 月 1 日から八丈小島（八丈小島周辺岩礁を含む）307 ヘクタールを鳥獣保護区特別保護地区に、八丈小島及び同島の平均海面時の海岸線から沖合 1 キロメートル以内の海域（当該海面上の小島及び岩礁を含む）1419 ヘクタールを鳥獣保護区に指定しました（右地図）。共に指定期間は、2017 年 11 月 1 日から 2037 年 10 月 31 日までの 20 年間になっています。

「鳥獣保護区は、鳥獣の保護を図るため必要があると認められる区域に指定するもので、同特別保護地区は、鳥獣保護区の区域内で鳥獣の保護又はその生息地の保護を図るため特に必要があると認められる区域に指定するものです。鳥獣保護区及び同特別保護地区の区域内では、右下表のとおり行為が規制されています。規制されている行為を行うには、あらかじめ許可を受ける必要があります。（東京都ホームページより）」

八丈小島は昭和 44 年に島民すべてが島を離れ、無人島になっています。その後、残されたヤギの大繁殖により植生の破壊や土砂の流出の被害がありましたが、2007 年度に町の事業により駆除が完了し、植生は回復しています。

今回は希少鳥獣生息地としての指定ですが、次ページのクロアシアホウドリの繁殖地になったことも大きな要因のひとつです。産卵のための巣は人が歩く道沿いやその周辺に多いので繁殖期間中の 12 月から翌年 5 月までは上陸の一部制限などがかけられるとさらにうれしいのですが。

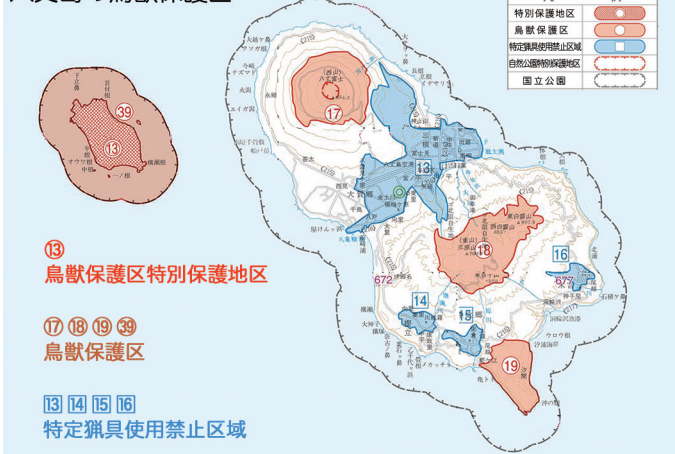
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（右下QRコード）

http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=414AC0000000088&openerCode=1



住居跡近くの高台からみた鳥打の舟着け場周辺

八丈島の鳥獣保護区



区域	行為の規制	備考
鳥獣保護区	・ 狩猟の禁止	鳥獣保護管理法 第 28 条第 1 項
鳥獣保護区 特別保護地区	・ 狩猟の禁止 ・ 建築物その他の工作物の新築、 改築、増築 ・ 水面の埋め立て、干拓 ・ 木竹の伐採	鳥獣保護管理法 第 29 条第 1 項、 第 7 項第 1 号から 第 3 号まで

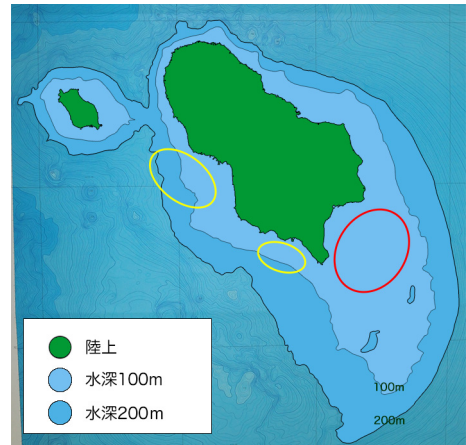
「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

戻ってきてくれてありがとう

ザトウクジラ編

八丈町では、2016年から東京海洋大学大学院鯨類学研究室と共同でザトウクジラの生態調査を行っています。その調査報告会が先日行われ、昨シーズンはトータルで60個体の識別ができたということです。水深200m以浅で多く確認され、特に島の南東部の**右図赤丸海域**の末吉洞輪沢港沖で多く見られたとのこと。今シーズンは**右図黄色丸海域**の八重根港沖や中之郷の藍ヶ江港沖でもよく見られています。中之郷では“足湯きらめき”に入りながら、末吉では“みはらしの湯”に入りながらクジラが見られる日もあるようです。

昨シーズンの個体数のピークは2月下旬から3月上旬にかけてだったようなので、水温が安定していればまだまだ楽しめそうですね。



八重根港棧橋のすぐ近くでザトウクジラ



大潟浦沖でブリーチングするザトウクジラ



クロアシアホウドリ編

八丈小島のクロアシアホウドリは、上陸が初めて確認されてから6シーズン目に入りました。昨シーズンは8個の卵から3羽の雛が生まれ、2羽が巣立ちました。そして今シーズンは12月24日の上陸調査で12個の卵が確認されています。何羽のヒナが生まれ、何羽のヒナが巣立っていくのか楽しみです。

クロアシアホウドリは11～12月に産卵し、約60日でヒナが誕生します。初めの1ヶ月の間は親が交互にお腹の下で育てますが、その後はヒナを残して親は海に餌を採りに出かけます。それから2ヶ月ほど育てた後、ヒナを島に残して親たちは北へ帰ります。残されたヒナは、1ヶ月かけて羽が生え替わり、体を絞る、飛ぶ練習を繰り返して、島から旅立ちます。昨シーズンのヒナたちは6月の初めには八丈小島から旅立っていました。

八丈小島のクロアシアホウドリの動向

①シーズン	2012秋～2013春	4月14日上陸が初めて確認された
②シーズン	2013春～2014秋	産卵数3、12羽が大型猛禽？に襲われる
③シーズン	2014秋～2015春	産卵数0、上陸数が激減
④シーズン	2015秋～2016春	産卵数1、ヒナ0、上陸数が徐々に戻り始める
⑤シーズン	2016秋～2017春	産卵数8、ヒナ3、巣立ち2
⑥シーズン	2017秋～2018春	産卵数12、ヒナ？、巣立ち？

イソギクの周りに産座(卵を産む場所)を作ったクロアシアホウドリ



マルバアキグミの根元に産座(卵を産む場所)を作ったクロアシアホウドリ



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。平成 28 年最後の調査会は 12 月 10 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 29 年第 12 回）調査者：沖山美、青木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			10	テイカカズラ	実が割れる
1	アオノクマタケラン	熟した実	11	トペラ	実
2	アキノノゲシ	実	12	ハゼノキ	新葉と花
3	アシタバ	実	13	ハチジョウキブシ	蕾と新葉
4	イワニガナ	花	14	ヒサカキ	蕾
5	ウスベニニガナ	花と実	15	ヒメユズリハ	実
6	オオバコ	実	16	ホルトノキ	実
7	オニタビラコ	花と実	17	ヤツデ	花と実
8	カタバミ	花と実	18	ヤブツバキ	花
9	サルトリイバラ	熟した実			
10	ススキ sp.	実	シダ植物		
11	タチスズメノヒエ	実	1	オオイタチシダ	
12	タネツケバナ	花と実	2	オオタニワタリ	
13	ツルソバ	花	3	オニヤブソテツ	
14	ツワブキ	花、満開	4	カニクサ	ほとんど枯れる
15	ノコンギク	花と実	5	タチクラマゴケ	紅葉が始まる
16	ハキダメギク	花	6	タチシノブ	孢子葉枯れる
17	ハチジョウアザミ	花と実	7	タマシダ	塩害が顕著
18	フウトウカズラ	熟した実	8	ナチシケシダ	
19	ムラサキカタバミ	花	9	ナンカイイタチシダ	二株だけ
20	ヤクシソウ	花と実	10	ノキシノブ	
			11	ハカタシダ	勢いが弱い
木本			12	ハチジョウカナワラビ	
1	アカメガシワ	新葉が展開	13	ハチジョウシダ	
2	イヌビワ	実	14	ハチジョウベニシダ	
3	ウツギ	実	15	ヒトツバ	孢子葉が目立つ
4	オオアリドオシ	熟した実	16	ホシダ	塩害が顕著
5	オオバヤシャブシ	実	17	ホラシノブ	
6	オオムラサキシキブ	新葉が展開	18	マツバラン	
7	ガクアジサイ	実	19	マメツタ	
8	スダジイ	虫こぶが割れる	20	ミゾシダ	
9	ツルグミ	蕾	21	ヤマイタチシダ	

今回も台風 21 号の塩害からあまり回復が見られず、観察した種数もシダ植物 21 種を含む 59 種と少ない結果になりました。来たるべき冬に備えて 本来ならしっかり冬芽を作っている筈の樹木が、早期に落葉してしまったためか今頃新葉が展開しているものが目立ち、これからがやや心配です。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「ジョウビタキ」にスポットを当ててみたいと思います。



ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*

ヒタキ科ジョウビタキ属の鳥。日本には冬鳥として渡ってきますが、繁殖例もあります。八丈島でも冬に渡ってきて越冬します。

植物公園にも毎年のようにやってきます。オス（写真）は頭部がグレー、眼の下から黒く、胸から下は鮮やかなオレンジ色、翼に白斑があります。メスは灰褐色で上・下尾筒はオレンジ色。

2018 八丈ビジターセンター 1 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1 ガイドウォーク	2 ガイドウォーク	3 ガイドウォーク	4	小寒 5	6 ガイドウォーク
	年末年始特別行事「体験八丈太鼓」					
7 ガイドウォーク	8 ガイドウォーク	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	15	16	17	18	19	大寒 20 ガイドウォーク
21 ガイドウォーク	22	23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「近藤富蔵とはどんな人？」
28 ガイドウォーク	29	30	31			

この色の日は
ガイドウォークや
特別行事があります

イベントプログラム

年末年始特別行事
「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年始といえばこれ！ て〜こ、はたきにおじゃれ！
1 / 1〜3（13：30〜16：45）いつでも・だれでも・無料

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
1 / 14（13：30〜 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八丈学講座

「近藤富蔵とはどんな人？」

毎月行っている八丈学講座。今月は、三根開善院にある近藤富蔵のお墓からスタートします！
1 / 27（13：30〜 約1時間半）
中学生以上 三根開善院駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00〜 八丈・海・生きものたち

11：00〜 おじゃりやれ 八丈島

14：00〜 おじゃりやれ 八丈島

15：00〜 おじゃりやれ 八丈島

16：00〜 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.1.1 第200号

開館時間 9：00〜16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

今月でこっめ通信も200号になりました。2001年6月から16年以上にわたって発行を重ねたため、文章も少しは読みやすくなっているでしょうか？そういうことよりネタを提供し続けてくれる八丈島の自然にこそ感謝です。（高）